

もっと  
演劇を  
楽しもう。



かなざわリージョナルシアター 2018「げきみる」関連事業

# 劇評講座

演劇は誰のものか？

哲学的な問いを発しているわけじゃない。

戯曲があり演出家がいれば俳優がいる。そこに舞台があり音響や照明が効果をあげる。彼らは演劇のプレイヤーたちだ。

しかし、演劇には観客がいる。観客だって演劇の重要な構成要素じゃないか。

それが証拠に観客が誰もいない演劇を考えてみるがいい。

果たしてそれは演劇と呼べるだろうか？

だから観客たちも声をあげよう。

私はこの作品をこう観たのだと。私にとってこの作品はこのように映ったのだと。

そしてプレイヤーたちと対等な平野に立って

ともに舞台を創りあげよう。

たったひとつ、「言葉」という武器だけを頼りに。

